# 委 員 会 会 議 録

（一社）滋賀県トラック協会

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | 第１０回 成長戦略委員会 |
| 開催日時 | 平成２７年3月１６日（月）　１０：００～１２：００ |
| 開催場所 | 滋賀県トラック総合会館　２Ｆ「特別会議室」 |
| 出 席 者 | 委員５名、オブザーバー１名、事務局４名 |

| 協　　議　　内　　容 |
|---|

定刻１０時より開会。

開会にあたり田中会長から本日の議題「滋賀に輝く七つ星事業」実施に向けて女子部会にも協力をお願いしており、本日の委員会に平川女子部会長に出席願った旨の説明とあいさつがあり、引続いて外村委員長からあいさつの後、議事進行された。

（１） 県知事との面談結果について

会長から去る９日、物流ニッポンの新聞取材により三日月知事との対談を４０分間行った。詳しい内容については今月２６日の物流ニッポンに掲載されるが、「滋賀に輝く七つ星事業」について意見交換をし、当協会の女子部会とコラボしてこの事業を行っていきたいと話したところ、この事業を実施するに際しては「びわ湖トラガール」の名前を使ってはどうかとの知事からの発案があった旨報告があり、本日は特に女子部会に協力願う次の３点を中心にご協議願いたいと述べられた。

① 滋賀に輝く七つ星事業について

◎ 交通安全びわ湖キャラバン隊について

大黒参事から資料１－２、参考資料１により詳細説明があった。

続いて、平川女子部会長から湖南支部より㈱国松運輸と当社㈱カロカ急配からそれぞれ車両１両ずつと女性ドライバー２名の参加を予定している旨報告された。

検討されたところ、オープニング式の際の安全運転宣言はバス協会１名、トラック協会１名となるが、当協会からは湖南支部から参加頂く女性ドライバー１名が行うことになった。

大黒参事から各引継所について道の駅等では交通安全協会が啓発活動を兼ねて集まるので、沢山の人が来てもらえる。その他、安全管理者協会でも協力を頂くことになっている旨報告した。

また、会長から各引継所には広報の関係もあり、平日ではあるが各支部、女子部会、青年協議会等出来るだけ多くの人に参加して貰いたいと述べられた。

中田委員から湖西支部では例年春と秋の交通安全運動期間中、高島市の要請によりトラックによる交通安全パレードを行っているが、今年も５月９日に実施したいので協力願いたいとの申し出があったが、今回は５月１１日に協会で交通安全キャラバン隊を行うので高島市には断りを入れた旨報告された。
出席委員から、逆に高島市も１１日に引継所で啓発活動ができないか申し出を行ってはどうかとの意見があった。

大橋参事から広報推進委員会では委員が折り鶴を織り、千羽鶴を引き継ぐことになった。又広報推進委員も引継所に行き立ち会いをすることになった旨報告した。

◎ キャリア教育について
会長から各支部単位で役員出身校に出向き就職担当の先生に業界の現状、仕事内容等の話をして貰い、次の段階として授業で出前講座の実施をお願いしたい。また、びわ湖トラガールにも参加してもらい女性の活躍を伝えて貰い業界のイメージアップを図りたい。政府も知事も女性の活躍を期待していると述べられた。

続いて、出席委員から次の発言があった。

知事との面談で知事からキャリアアップ教育や女性の活躍に賛同してもらっているのであれば県に話をし、担当の部署で詳細企画や各高校との折衝をお願いしてはどうか。

県のバックアップがある、ないにより高校の対応も全然違うと思う。

会長から知事との対談は物流ニッポンの二面を使って掲載されるので業界では注目度も違う。県からの後押しや根回しがあればより行いやすい。高校の授業の中で一コマを貰って業界や仕事内容の説明をお願いしたい。先ずは業界を知って貰うことである。話す内容は各支部統一し、詰めて行く必要があると述べられた。

また、先生だけでなく生徒に話す内容や話す人も決めておくのか？協会でマニュアル作りを行うのか？との質問があり、会長から経営支援委員会で支部との関わり、協会（正副会長・成長戦略委員会）の関わり、委員会の関わりも整理・勘案したうえで検討頂きたいと発言された。

大黒参事から経営支援委員会でもマニュアル作りについて検討されているが、県の協力等も併せて県交通政策課と話を詰めていきたいと述べた。

◎ 観光物産ＰＲについて

会長から政府も知事も地方創世を言っている。この事業については協会としては受け身であり、県が主導権・指導力を持って貰い行うものである。先日の知事との対談でも、交通安全運動期間中に行うＳＡ・ＰＡでの啓発時に、滋賀県の観光物産のＰＲでチラシやグッズの配布をびわ湖トラガールの協力を得て行いたいと述べたと発言された。

出席委員から協会は県から具体的に言われた際、動ける体制を作っておけば良いのではないかと述べられた。

また、大黒参事から予算については県から出されるべきものである。ＳＡ・ＰＡでの観光物産についてのＰＲを目的とした啓発活動を行って良いかＮＥＸＣＯに確認したい。又県の窓口となる交通政策課も異動がありバタバタしているので詳しくはまだ聞けていないが、落ち着けば話を進めて行きたいと発言した。

その他、道の駅で観光物産のＰＲを行ってもよい。トラックを持ち込んで即売会を行ってもよいと述べられ、会長から先ずは今年、夏か秋の交通安全運動期間中にＳＡ・ＰＡで観光物産についてのＰＲを行いたい。今後、積極的な受け身でこの事業を行いたいと発言された。

（２）災害対策の体制づくり最終案について

大黒参事から資料２により災害対策の体制づくり最終案について説明があった。

検討されたところ別表６（９P）の滋賀県災害対策本部「輸送調整所」要員派遣計画の第１次派遣要員の３として㈱外村物流運輸、第２次派遣要員の３として㈱松田商事、第３次派遣要員の３として適正化指導員を付け加え、正副会長会議、理事会に提案することになった。

（３）その他

事務局中野から資料３により平成２７年度事業計画及び予算案について説明し、確認を行った。

次回委員会　　平成２７年５月１３日（水）１０時～　於：滋賀県トラック綜合会館